

2024年3月期 第1四半期決算概要



日進工具株式会社

2023年7月31日
(証券コード6157)

目次

2024年3月期1Qの業績	P. 3 . . .	第1四半期決算の概要
	P. 4 . . .	営業利益の減益要因
	P. 5 . . .	損益計算書サマリー
	P. 6 . . .	貸借対照表サマリー
	P. 7 . . .	業績推移
<hr/>		
2024年3月期の業績予想	P. 14 . . .	業績予想
	P. 15 . . .	第1四半期における進捗状況
	P. 16 . . .	配当予想
<hr/>		
参考資料	P. 18 . . .	過去5年間の業績と主要データ推移
	P. 19 . . .	投資指標
	P. 20 . . .	株価推移とバリュエーション
	P. 21 . . .	I R 情報サイトのご案内

2024年3月期 第1四半期の業績



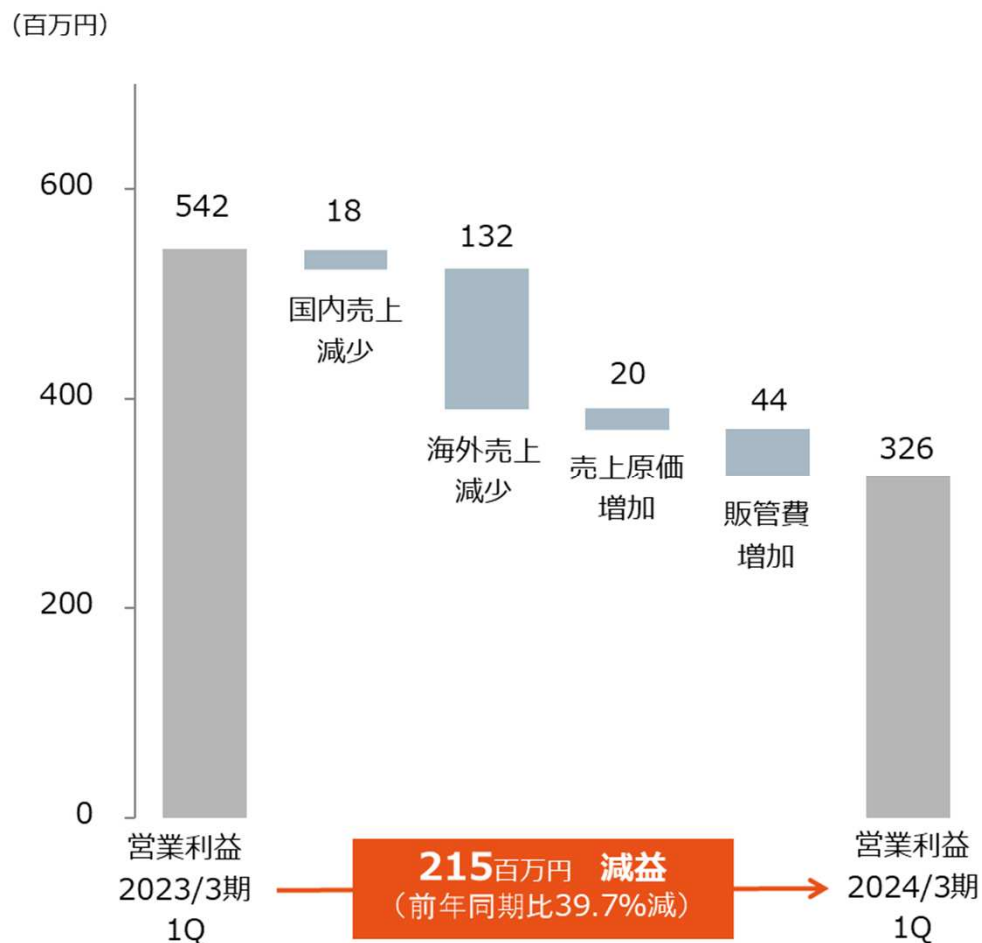
第1四半期決算の概要

前年同期に比べ減収・減益

(単位：百万円)	2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期	進捗率
	1Q実績	1Q実績	上期予想	
売上高	2,355	2,204	4,970	44.4%
前年同期比	-3.7%	-6.4%	+4.2%	
営業利益	542	326	930	35.1%
前年同期比	-6.8%	-39.7%	-3.1%	
経常利益	540	332	930	35.7%
前年同期比	-8.3%	-38.6%	-2.7%	
四半期純利益	322	199	600	33.2%
前年同期比	-17.8%	-38.1%	-3.2%	

- 自動車関連は半導体や部品不足の緩和により生産の持ち直し気運が見られたものの、金型向けを中心とした工具需要の回復には至らず。半導体や電子部品・デバイス関連ではスマートフォンやPC関連等の需要減退が続く中、一部製品は好調を維持し、二極化の様相を呈した。海外販売は中華圏向けが不振。
- 当四半期の連結売上高は2,204百万円と、前年同期比6.4%の減少となった。
- 連結経常利益は332百万円と同38.6%の減少。売上高経常利益率は15.1%と同7.9ポイント低下。

営業利益の減益要因



- 売上高は国内が前年同期比18百万円、1.2%減少、海外は同132百万円、17.5%減少した。売上高全体では同151百万円、6.4%の減少となった。
- 在庫品揃え拡充のため、生産量を絞り多品種の生産を行ったため、材料費・外注費をはじめ製品製造原価は同5.6%減少した。しかし、製品評価損が増加したため、売上原価は同20百万円、1.9%の増加となった。
- 販管費は営業活動再開による出張費用や展示会費等の増加により販売費が同14.9%増加した。販管費全体では同44百万円、5.9%の増加となった。
- これらの結果、営業利益は同215百万円、39.7%減少し326百万円となり、売上高営業利益率は14.8%と8.2ポイント低下した。

損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2023年3月期 1Q実績	2024年3月期 1Q実績	前年同期比 増減率
売上高	2,355	2,204	-6.4%
売上総利益 対売上高比率	1,295 55.0%	1,123 51.0%	-13.2%
販管費 対売上高比率	753 32.0%	797 36.2%	+5.9%
営業利益 対売上高比率	542 23.0%	326 14.8%	-39.7%
経常利益 対売上高比率	540 23.0%	332 15.1%	-38.6%
四半期純利益 対売上高比率	322 13.7%	199 9.0%	-38.1%
設備投資額	214	109	-48.7%
減価償却費	163	149	-8.9%
従業員数(人)	359	354	-1.4%

- 売上高は2,204百万円と前年同期比6.4%の減少。景況感は大きく改善せず、工具需要の動きが鈍い中、海外販売の不振もあり減収となった。
- 売上総利益は1,123百万円と同13.2%減少。売上原価が1.9%増加しており、売上総利益率は51.0%と同4.0ポイント減少した。
- 販管費は販売費等の増加等に伴い、同5.9%増加し、売上高販管費比率は36.2%と同4.2ポイント上昇。
- これらにより、営業利益は同39.7%減少の326百万円、売上高営業利益率は14.8%と同8.2ポイント低下した。
- 設備投資額は、当四半期での設備導入が少なく109百万円と同48.7%の減少。減価償却費も同8.9%の減少となった。

貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2023年 3月期末	構成比	2024年 3月期1Q末	構成比	前期末比
(資産の部)					
流動資産	12,298	65.2%	11,850	64.4%	-3.6%
現金及び預金	8,497	45.1%	8,004	43.5%	-5.8%
受取手形及び売掛金	1,355	7.2%	1,318	7.2%	-2.8%
棚卸資産	2,320	12.3%	2,378	12.9%	+2.5%
固定資産	6,559	34.8%	6,562	35.6%	+0.0%
有形固定資産	5,412	28.7%	5,417	29.4%	+0.1%
無形固定資産	28	0.2%	27	0.2%	-1.5%
投資その他の資産	1,118	5.9%	1,116	6.1%	-0.2%
資産合計	18,857	100.0%	18,412	100.0%	-2.4%
(負債の部)					
流動負債	1,432	7.6%	1,098	6.0%	-23.3%
買掛金	303	1.6%	268	1.5%	-11.5%
固定負債	224	1.2%	224	1.2%	-
負債合計	1,657	8.8%	1,323	7.2%	-20.1%
(純資産の部)					
自己資本合計	16,984	90.1%	16,885	91.7%	-0.6%
純資産合計	17,200	91.2%	17,089	92.8%	-0.6%
負債・純資産合計	18,857	100.0%	18,412	100.0%	-2.4%

流動資産

法人税や賞与の支払等により現金及び預金が減少したこと等から前期末比3.6%減少。

固定資産

有形固定資産は微増、投資その他の資産は微減によりほぼ横ばい。

負債

未払法人税等や賞与引当金の減少等により、同20.1%減少。

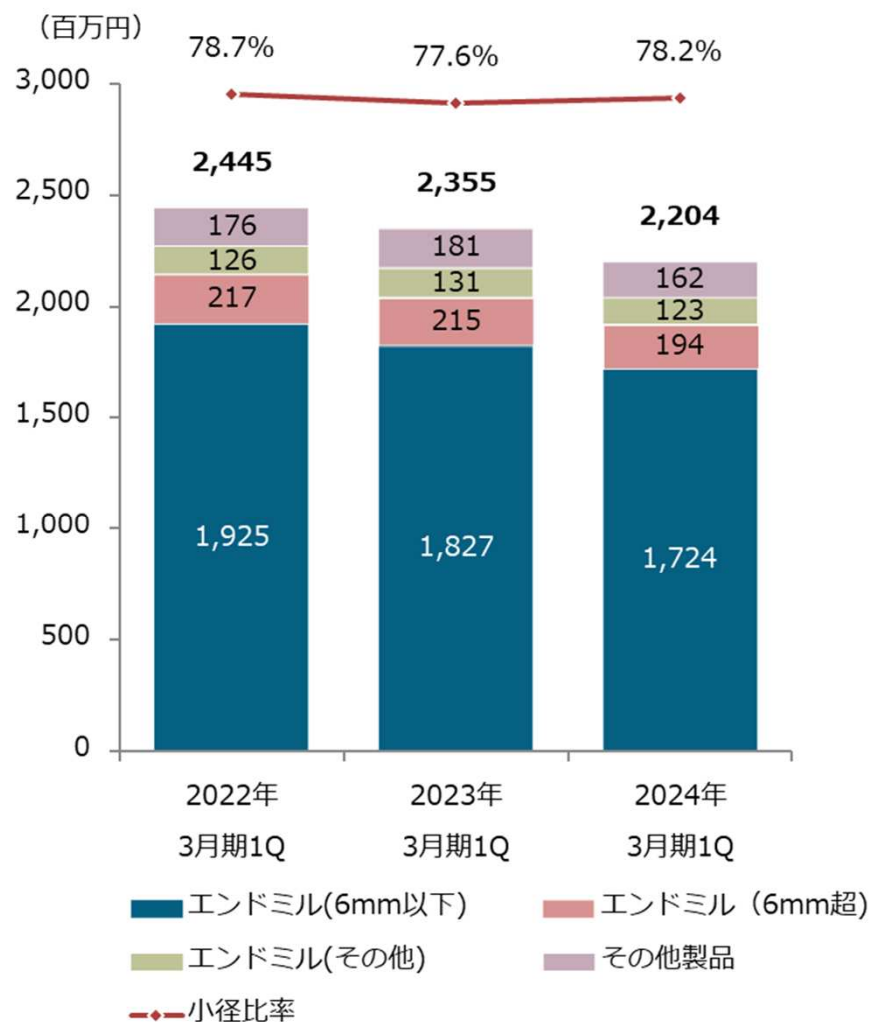
純資産

配当金の支払による利益剰余金の減少等から、同0.6%減少。負債の減少もあり自己資本比率は91.7%と同1.6ポイント上昇。

業績推移（売上高の推移）

製品別）

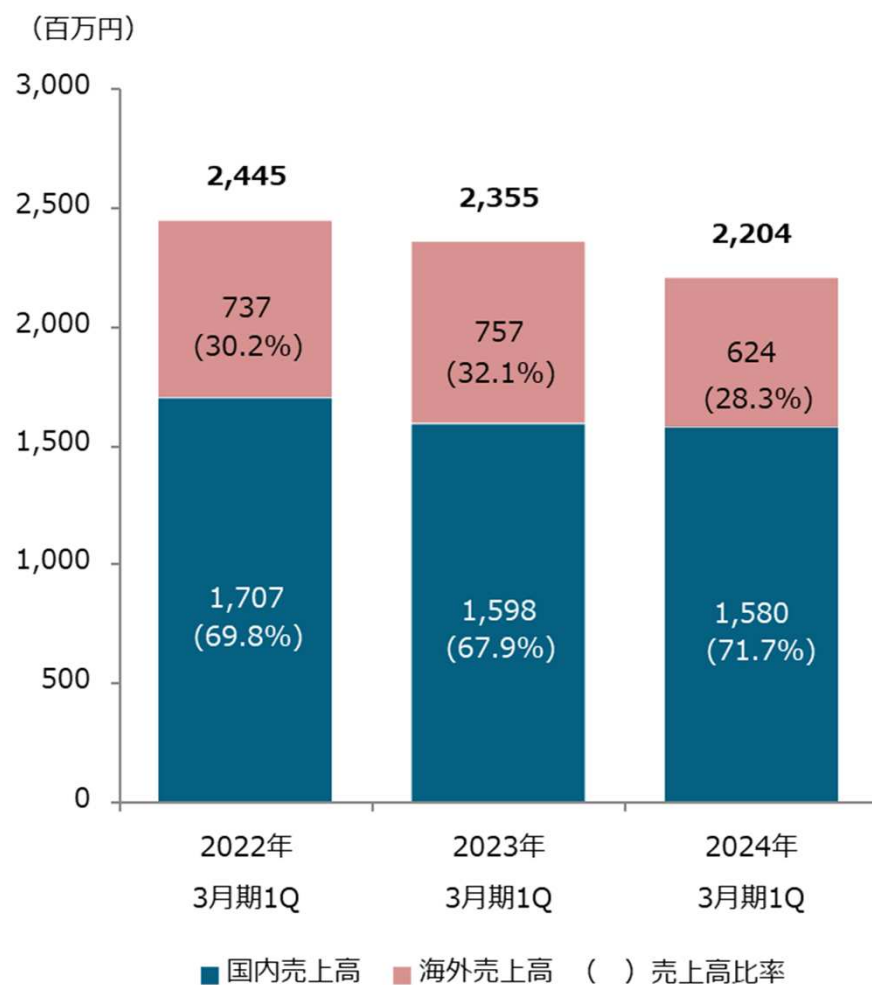
製品別売上高と小径比率の推移



- 自動車関連は半導体や部品不足の解消に伴い、生産に持ち直しの動きが見られた。しかし、金型向けを中心とした工具需要は回復せず低調に推移した。半導体や電子・デバイス関連はスマートフォンやPC関連等の需要減退が続いた一方で、一部製品向けは好調を維持した。連結四半期売上高は2,204百万円と前年同期比6.4%減少した。
- 製品別では、主力のエンドミル（6mm以下）が前年同期比5.7%の減少、エンドミル（6mm超）も同9.5%減少、ユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）は同6.1%減少し、工具ケース等のその他製品は、同10.6%減少した。小径比率は78.2%と同0.6ポイント上昇した。

業績推移（売上高の推移 国内・海外）

国内・海外売上高の推移

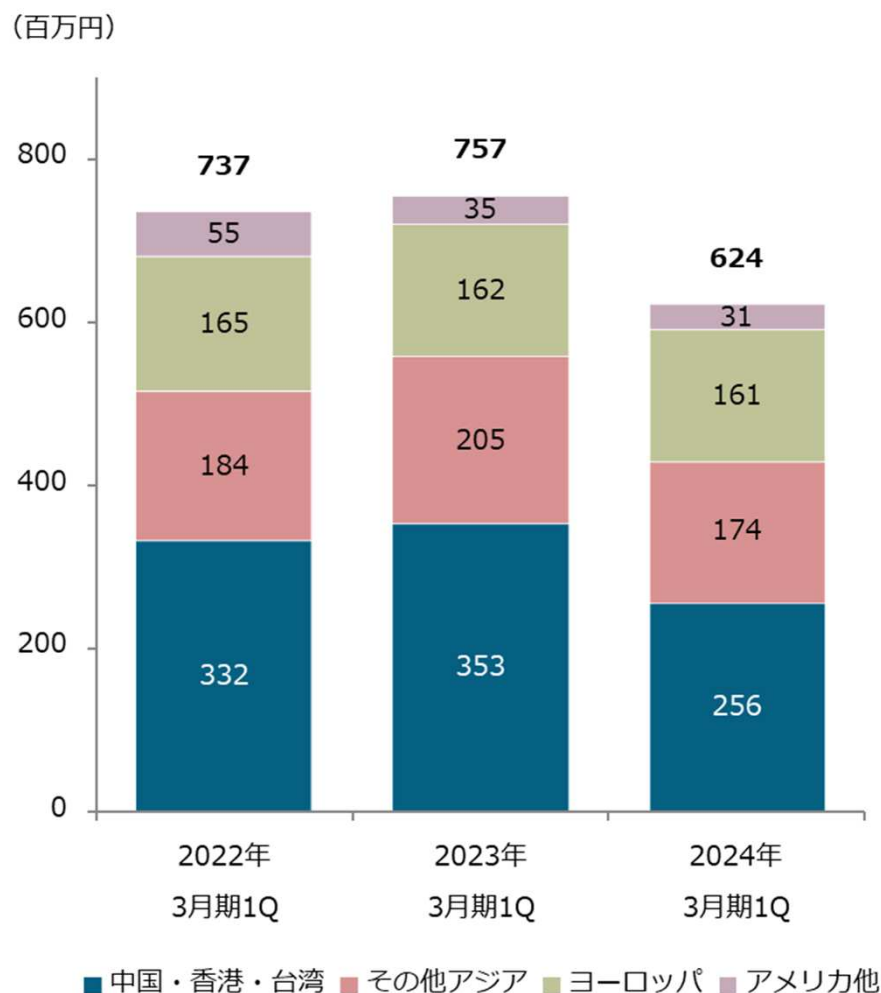


- 国内売上高は前年同期比18百万円、1.2%減少し1,580百万円となった。海外売上高は同132百万円、17.5%減少し624百万円であった。
- 海外売上高は、主に前年同期好調であった中華圏での需要減退が大きく影響した。日進工具香港の連結にからみ、当四半期の中国向けの数字は1-3月分。
- 海外売上高比率は前年同期比3.8ポイント低下し28.3%。4年ぶりに30%を下回った。

業績推移（売上高の推移）

海外地域別）

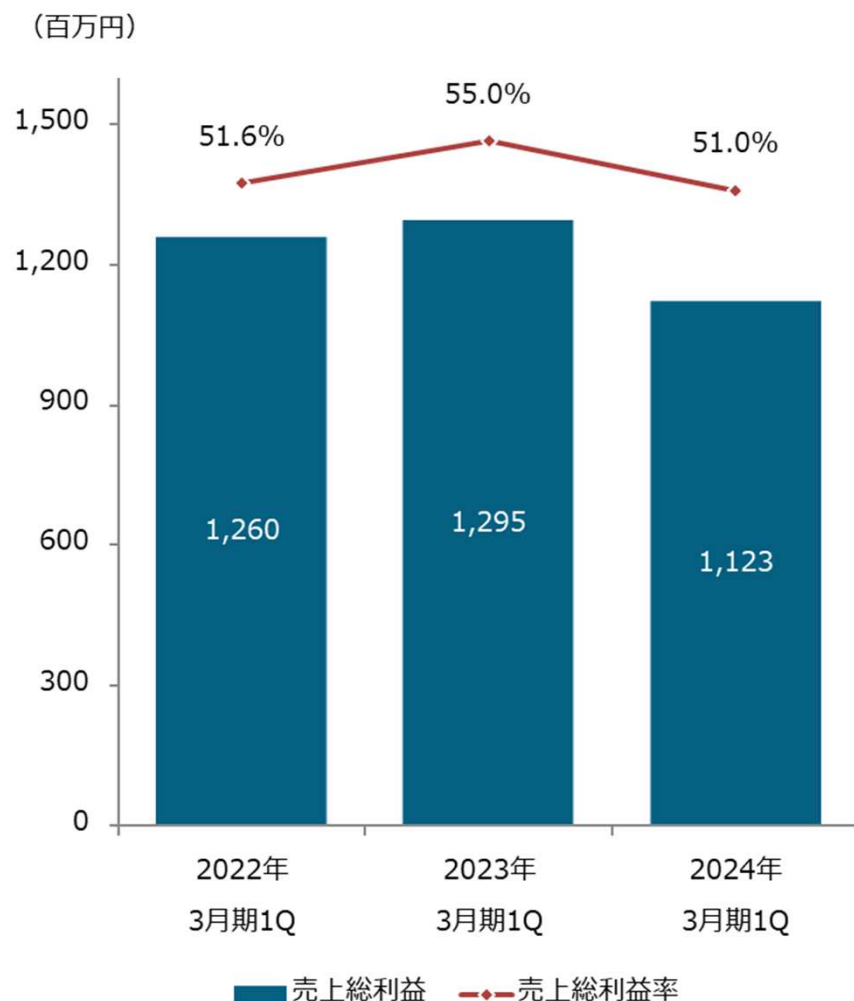
海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は前年同期比27.4%減少の256百万円。日進工具香港の連結にからみ当四半期の中国向けの数字は1-3月分。スマートフォン関連の需要が減少、その他アジア地域への生産移管も見られた。さらに、中国市況が悪化しており、製造業全体が大きな影響を受けた。台湾は半導体関連が低調となった。
- その他アジアは同15.0%減少の174百万円。東南アジアでは自動車部品向け金型関連が不調となっている。インドは活況な内需や中国からの生産移管もあり好調な動きとなっている。
- ヨーロッパは資源価格の高騰やインフレの影響により振るわず、同0.4%減少の161百万円。
- アメリカ他は同13.0%減少の31百万円。NS TOOL USAの連結にからみアメリカ向けの数字は一部1-3月分。現地在庫を持つNS TOOL USAへの受注移管を行っており、販路確立により今後拡販を狙う。

業績推移（売上総利益の推移）

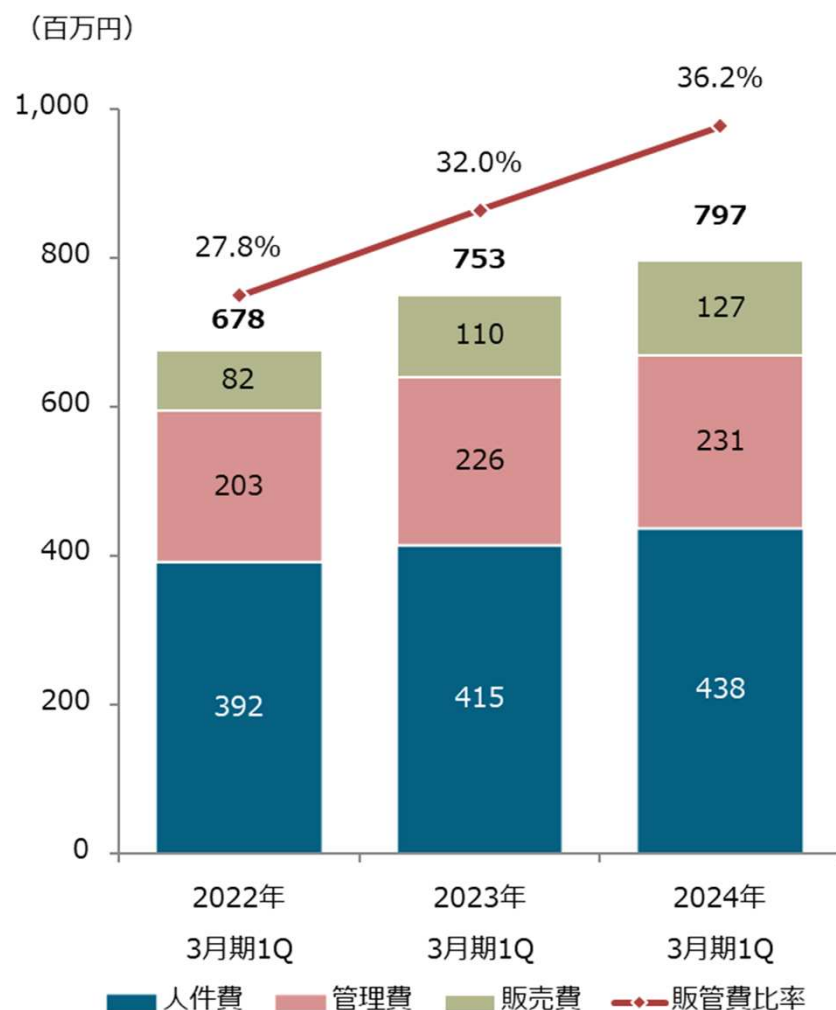
売上総利益と売上総利益率の推移



- 在庫品揃え拡充を目的とした、多品種適量に対応した生産計画と原価低減の継続的な取り組みにより、材料費は前年同期比11.4%減少、外注加工費は同13.2%減少、労務費は同3.4%減少した。製造経費は製造電力費がやや増加したものの、製造減価償却費の減少もあって同0.6%減となり、当期製品製造原価は同5.6%減少した。
- 在庫品揃え拡充のため売上下位製品の生産を行ったことから、製品評価損が増加。売上原価は同1.9%の増加となった。
- これにより売上総利益は同13.2%減少し1,123百万円、売上総利益率は51.0%と同4.0ポイント低下した。

業績推移（販管費の推移）

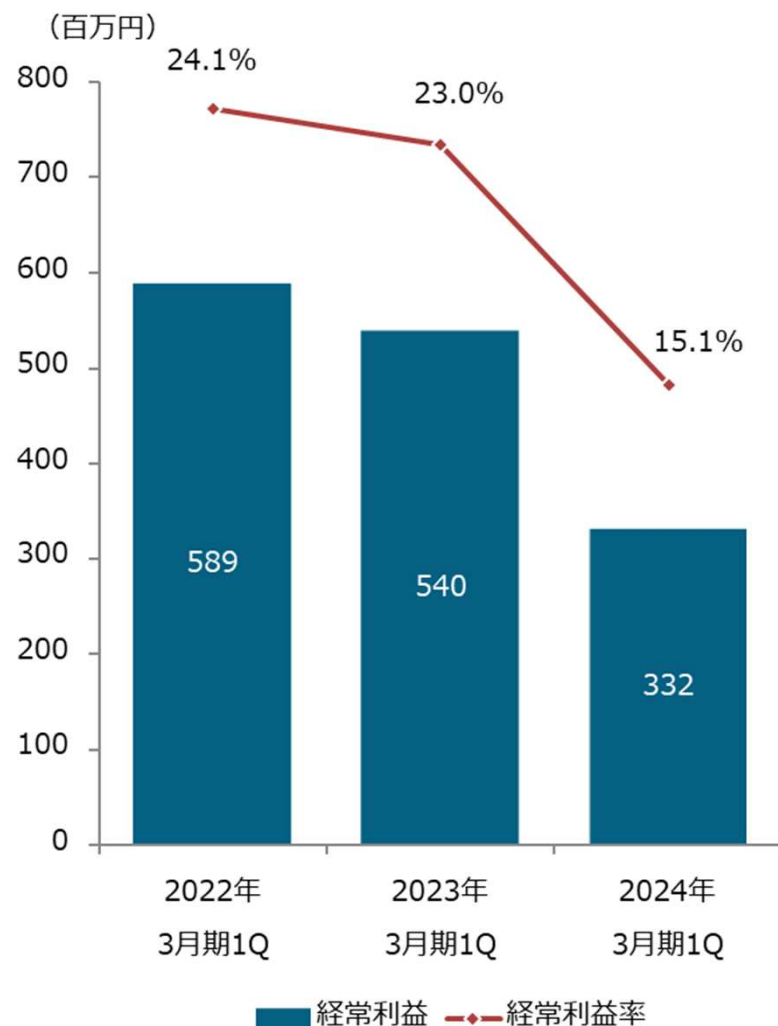
販管費と販管費比率の推移



- 販売費は、営業活動による出張旅費が増加したことに加え、4月と6月に「INTERMOLD」が開催されるなど、展示会への積極的な参加により展示会費等が増加したこともあり、前年同期比14.9%増加の127百万円。
- また、株主数増加に伴い、株主優待関連費用や株主宛文書発送費等が嵩んだことにより管理費も増加。
- 人件費は、従業員給与の増加等から同5.6%増加の438百万円。
- 販管費全体では同5.9%増加の797百万円となり、売上高販管費比率は36.2%と同4.2ポイント上昇した。

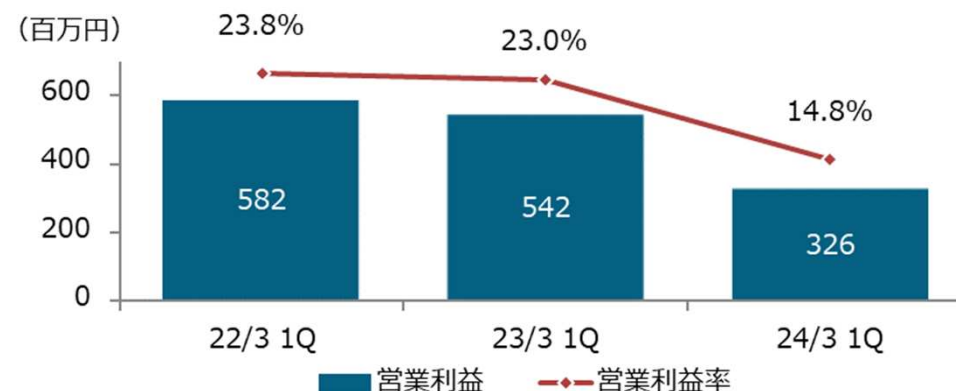
業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



- 営業利益は売上高の減少と販管費の増加等により前年同期比39.7%減少、326百万円となった。
- 営業外損益は、為替差益等により営業外収益が5百万円上回った。経常利益は332百万円、前年同期比38.6%の減少。
- 売上高経常利益率は15.1%と前年同期の水準を7.9ポイント下回った。

(参考) 営業利益と売上高営業利益率の推移



2024年3月期の業績予想



業績予想

(単位：百万円)	2023年3月期	2024年3月期	前期比
	通期実績	通期予想	増減率
売上高	9,656	9,870	+2.2%
営業利益	2,108	1,820	-13.7%
経常利益	2,131	1,830	-14.2%
当期純利益	1,475	1,220	-17.3%
設備投資額	686	1,037	+51.1%
減価償却費	669	714	+6.6%
EPS (円)	59.16	48.88	-17.4%
1株当たり配当金 (円)	22.50	25.00	+11.1%

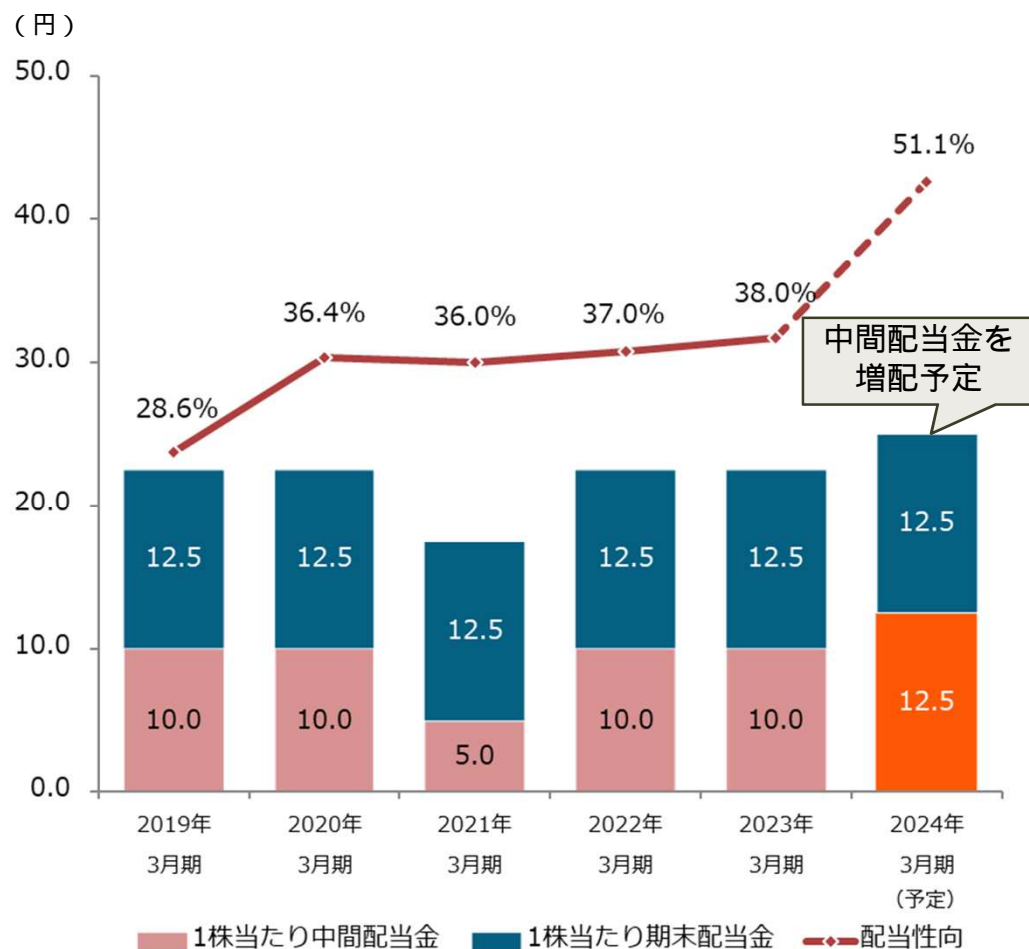
- 自動車関連は部品不足の解消等から生産が徐々に回復する見込み。半導体・電子部品関連は一部需要の減退がみられるものの、DX化が進み今後も幅広い分野での需要が想定される。
- 経済活動の正常化に合わせた積極的な営業活動や新製品の発売等から、売上は若干増加見込み。なお、資材等の価格や電力費の継続的な上昇は避けられず、賃金上昇も見込まれることから、コスト増加を織り込んでいる。
- 売上高は前期比2.2%増の9,870百万円、営業利益は同13.7%減の1,820百万円、経常利益は同14.2%減の1,830百万円を予想。
- 設備投資は、継続的な生産設備の増強等を実施予定。前期からの設備計画のずれ込みもあり前期比51.1%増の見込み。
- 1株当たり配当金は、中間配当金を12.5円に引き上げ、期末配当金12.5円を含めて年間では25円を予定。

第1四半期における進捗状況

(単位：百万円)	2024年3月期				
	1Q実績	上期予想	進捗率	通期予想	進捗率
売上高	2,204	4,970	44.4%	9,870	22.3%
前年同期比	-6.4%	+4.2%		+2.2%	
営業利益	326	930	35.1%	1,820	18.0%
前年同期比	-39.7%	-3.1%		-13.7%	
経常利益	332	930	35.7%	1,830	18.2%
前年同期比	-38.6%	-2.7%		-14.2%	
当期純利益	199	600	33.2%	1,220	16.3%
前年同期比	-38.1%	-3.2%		-17.3%	

配当予想（株主還元について）

1株当たり配当金と配当性向の推移



2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

安定性・継続性に配慮しつつ

業績動向や配当性向等を総合的に勘案

- 2023年3月期の1株当たり年間配当金は22.5円。
中間配当金10円、期末配当金12.5円
業績に対する配当性向は38.0%
- 2024年3月期の1株当たり年間配当金は、
基本方針に沿いつつ資本効率を意識し、
業績見込みに鑑み、25.0円と増配を予定。
中間配当金12.5円、期末配当金12.5円
業績予想に対する配当性向は51.1%
- 株主優待
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、
1単元（100株）以上を3年以上保有（ ）されている
株主様を対象にオリジナルクオカード2,000円分を贈呈。

3年以上保有とは、株主名簿基準日（3月31日及び9月30日）の株主名簿に7回以上連続して、同一株主番号で100株以上の保有記録が記載または記録されることをいいます

參考資料

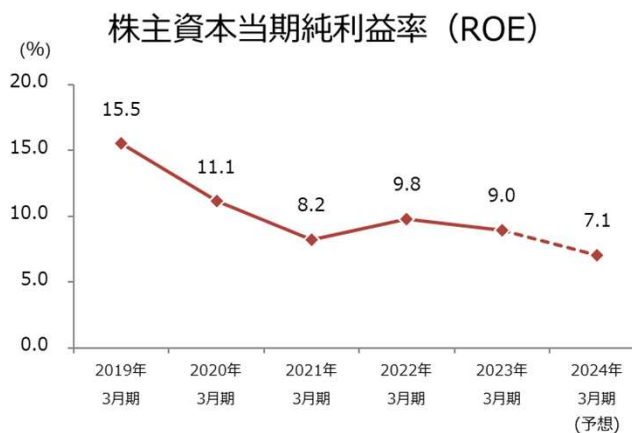


過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期実績
売上高	10,476	9,531	8,100	9,524	9,656
営業利益	2,879	2,219	1,512	2,111	2,108
営業利益率	27.5%	23.3%	18.7%	22.2%	21.8%
経常利益	2,894	2,231	1,712	2,156	2,131
経常利益率	27.6%	23.4%	21.1%	22.6%	22.1%
当期純利益	1,970	1,545	1,214	1,522	1,475
当期純利益率	18.8%	16.2%	15.0%	16.0%	15.3%
有利子負債額					
純資産額	13,461	14,498	15,326	16,165	17,200
総資産額	15,381	16,017	16,936	17,874	18,857
自己資本比率	87.1%	89.7%	89.4%	89.2%	90.1%
設備投資額	1,268	1,755	462	659	686
減価償却費	629	698	707	692	669
1株当たり配当金(円)	22.50	22.50	17.50	22.50	22.50
従業員数(人)	343	338	339	348	352

2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

投資指標



2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週足ベース株価推移（2012年1月～2023年7月）



2014年10月1日、2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

バリュエーション（2023年7月27日現在）

売買単位	100株
時価総額	284億円
ROE (23/3期実績)	9.0%

単元株価格	11万3,700円
PER (24/3期予想)	23.26倍
PBR (23/3期実績)	1.67倍

IR情報サイト/ニュースメール登録のご案内

The screenshot shows the NS TOOL website's IR page. The top navigation bar includes '製品情報', '事例・技術情報', '会社情報', '採用情報', and 'IR情報' (highlighted in orange). Below the navigation is a breadcrumb trail 'TOP > IR情報'. The main header area contains 'Investor Relations' and 'IR情報' with the stock code 'プライム市場 コード: 6157'. The page is divided into two main columns. The left column features 'IRトピックス' and 'IRニュース' sections, each with a list of recent news items including dates and PDF links. The right column contains a vertical menu with items like 'IR情報', 'IR情報トップ', 'トップメッセージ', '個人投資家の皆様へ', 'IRトピックス・IRニュース', 'IRカレンダー', '+ 経営方針・体制・コーポレート・ガバナンス', '+ 事業戦略', '+ 業績・財務情報', '+ IRライブラリー', '+ イベント', '+ 株式情報', 'よくあるご質問', 'IRサイトの使い方', 'IR情報サイトマップ', and 'IRニュースメール登録'.

IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

URL <https://www.ns-tool.com/ir/>



当社の適時開示情報・IR情報をタイムリーに受け取ることができます。

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

お問い合わせ

日進工具株式会社

取締役	経営企画室長兼管理部長	戸田	覚
管理部	経理課長	佐原	大樹
管理部	I R 担当	松尾	友紀子

TEL : 03-6423-1135
FAX : 03-6423-1186
E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。